

経済学科のコースとプログラムについて

経済学科では、幅広い視野のもとで現代における様々な経済問題の本質を捉える洞察力を備え、地域に貢献する企業や自治体等で活躍する人材を養成することを教育目的とし、「国際社会と日本コース」と「生活と環境コース」を設置しています。

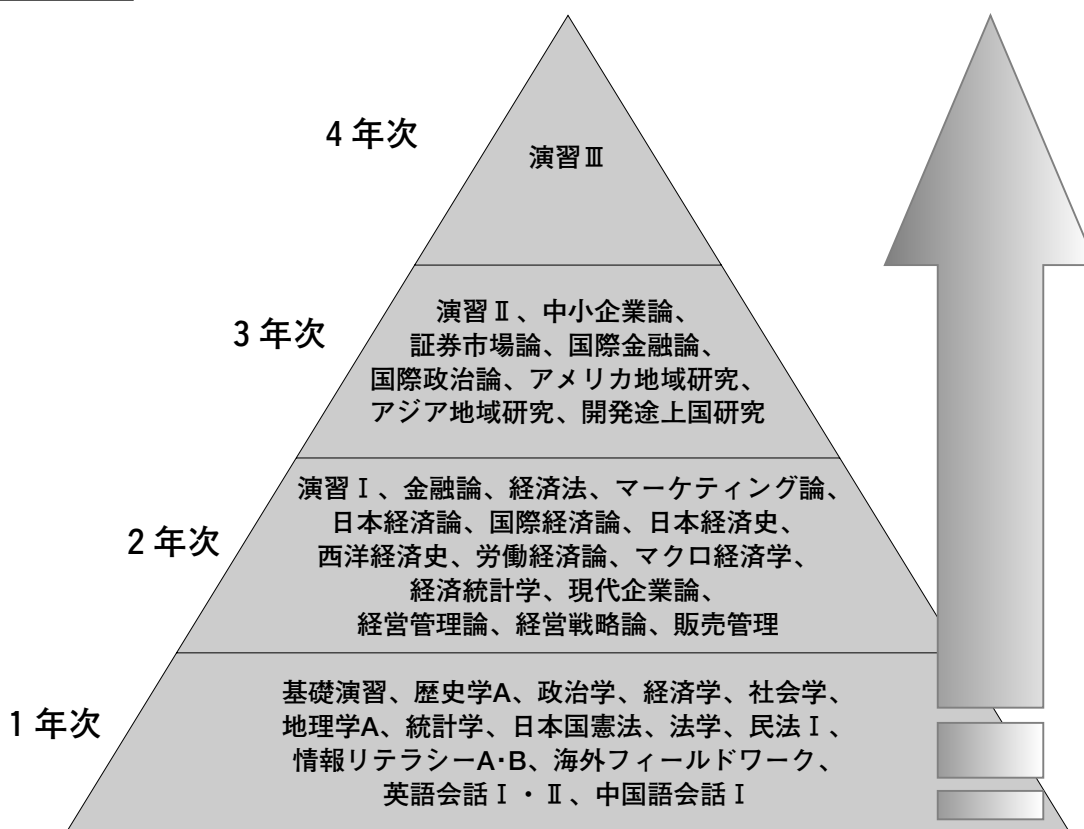
経済学科の学生は、卒業要件を満たすためにこの2つのコースのうち、いずれか1コースの16単位を含めて20単位以上を履修する必要があります。3年次ではこの2つのコースのいずれかを選択し受講することになりますから、2年次においてそれぞれのコースの基礎的な科目を受講し、3年次でのコース選択につなげていきましょう。以下では、2つのコースとそれぞれの履修モデルを紹介します。

I. 国際社会と日本コース ～グローバル人材育成プログラム～

—— 世界（グローバル）を学び、地域（ローカル）で活躍する！ ——

グローバルな視点で物事を考える能力を備え、そのような視点から、地域社会の持続的な発展に貢献する人材＝グローバル人材を育成します。日本経済や国際経済の様々な問題、さらに、各国の文化・歴史について学び、国際的な教養を身につけます。経済のグローバル化が進展する中で、国際的な調和と日本経済や地域経済の再生とを両立させ、成長力も備えた豊かな成熟社会の創造について追究します。

履修モデル

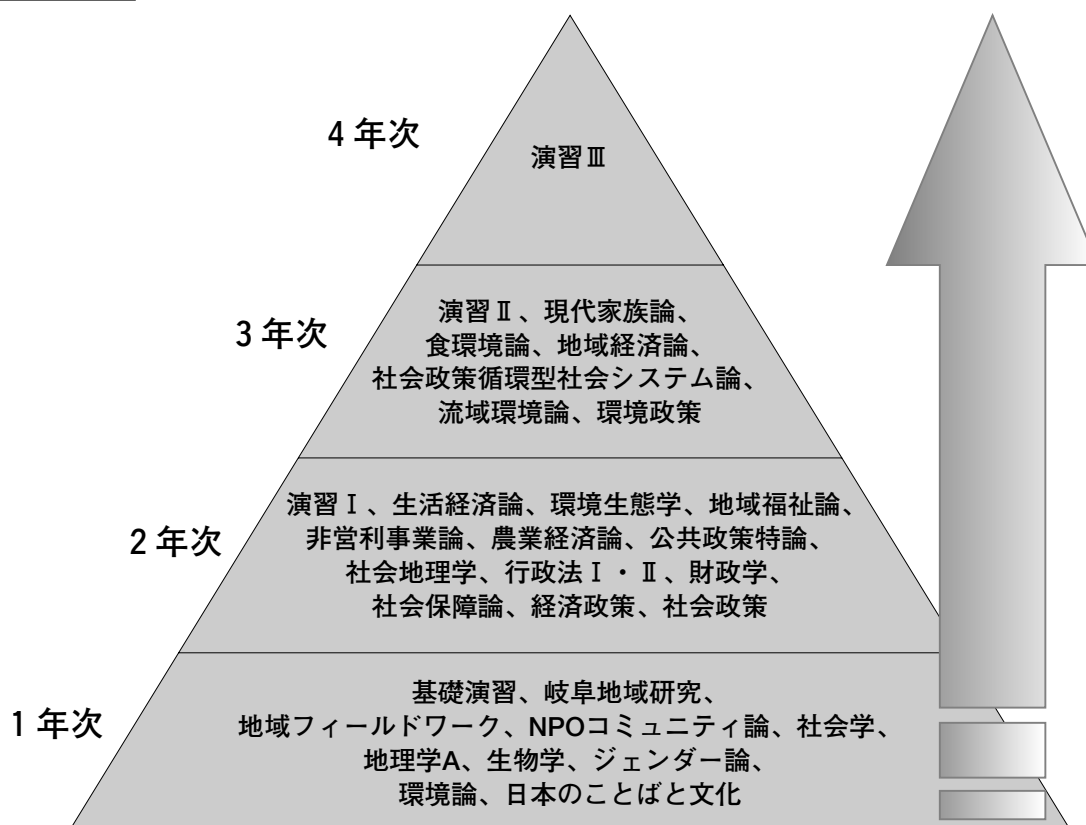


Ⅱ. 生活と環境コース ～生活クリエイティブ人材育成プログラム～

—— クリエイティブに生活空間＝地域をデザインする！ ——

快適で豊かな生活環境を創造するために、生活、家族、地域、環境に関する様々な問題についての知識を備え、新しい生活空間をクリエイティブに提案することのできる人材を育成します。地域経済や地方自治体の政策について学び、私たちの生活と地域社会との関わりについて理解を深めます。また、自然環境の保全と経済発展とが調和した「持続可能な発展」を導く社会のあり方を追究します。

履修モデル



<予想される進路>

流通業界、小売業、サービス業、金融業、製造業、建設業、公務員、商社、海外進出企業、国際機関、JA、NPO法人、ボランティア団体など